

第4回総合都市交通計画研修

主催：(財)計量計画研究所 後援：国土交通省

日時：2007年10月18日(木)～19日(金)

場所：川崎市産業振興会館

「第4回総合都市交通計画研修」を国土交通省の後援をいただき、2007年10月18日、19日の両日に渡って川崎市産業振興会館で開催しました。

これまで、わが国の主要な都市圏においては、パーソントリップ調査の実施とこれに基づく総合都市交通計画の策定が継続的に行われ、交通施設の整備や施策の実施によって都市交通環境の改善と透明性の高い都市交通行政の推進に大きく寄与してきました。一方、調査の実施や計画策定には、さまざまな特有の技術を用いることから、担当する行政職員の方々に、その内容を十分に理解してもらうことが重要になります。

このため、当財団では、都市交通を担当する行政職員の方々が、都市交通調査、計画に関する技術的知識を効率的に習得していただくことをねらいとして、2004年から「総合都市交通計画研修」を開催してきています。



写真-1 分科会の様子

第4回目となる今回も、都市交通計画に携わる行政の方々を中心に100名を越える大勢の方々にご参加をいただき、研修内容について約8割の方から、有益であった・ある程度有益であったという評価をいただきました(アンケート結果)。

今回の研修では、総合都市交通体系調査の概要と

意義について、国土交通省都市・地域整備局都市計画課都市交通調査室の徳永室長(現在、千葉市都市局長)から講習していただき、総合都市交通体系調査の実施手順に沿って、調査企画・準備から、計画策定などに至る過程を7つに分けて当財団の研究員が講習を行い、事例紹介として静岡県を取り組みを県建設部都市局都市計画室主幹 宮尾宗一郎氏(現在、静岡県建設技術監理センター主幹)にご紹介いただき、当財団矢島常務理事より「鉄軌道が支える日本の都市」と題した講演を行いました。

今回も、参加される方のニーズに合致した研修内容とするため、前回に引き続き、4テーマ毎に分かれる分科会を合計2回開催いたしました。

研修会プログラム

◇第1日目/10月18日(木)

開会

主催者挨拶

理事長 黒川 洸

研修内容の紹介

中野 敦

講習1：総合都市交通体系調査の概要と意義

国土交通省都市交通調査室長 徳永幸久

講習2：総合都市交通体系調査の企画・準備

中野 敦

講習3：実態調査等

森尾 淳

講習4：現況分析

小島 浩

分科会(その2：4テーマを並行実施)

講演：「鉄軌道が支える日本の都市」

常務理事 矢島 隆

意見交換会

◇第2日目/10月19日(金)

講習5：都市交通マスタープランの立案

秋元伸裕

講習6：都市・地域総合交通戦略の基礎的検討

平見憲司

事例紹介

「東駿河湾都市圏及び岳南都市圏のPT調査について」

静岡県建設部都市局都市計画室主幹 宮尾総一郎

講習7：予測評価手法

毛利雄一

講習8：計画・施策の達成に向けた取組みとデータ活用

鈴木紀一

分科会(その2：4テーマを並行実施)

次回は、2008年10月に第5回の研修を開催予定です。ご案内は詳細が決まり次第、ホームページに掲載する予定です。多くの皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

(企画室 中川 裕二)